

社会資本整備審議会 道路分科会  
第11回 北陸地方小委員会

議事概要

1. 日時 令和2年10月9日(金) 10:00~11:00  
2. 場所 北陸地方整備局 4階 合同会議室  
富山河川国道事務所 3階 大会議室  
金沢河川国道事務所 2階 会議室

3. 出席者

[委員長]

佐野 可寸志 長岡技術科学大学 教授

[委員] 敬称略・五十音順

秋月 有紀 富山大学 教授

佐伯 竜彦 新潟大学 教授

馬場先 恵子 金沢学院大学 教授

丸山 結香 (有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役

山下 義則 北陸経済連合会 専務理事

4. 議事内容

(1) 審議結果

- ・北陸地方における、災害に強い国土幹線道路ネットワークについて了承された。

(2) 主な意見

- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策で終わらず、減災に対する取り組みは重要であり、今後も継続していくべき。渋滞や事故対策も今後継続するべき。
- ・発災後の通行確保の目標は、一般車両と物流を分けて考えるべきであり、緊急車両・物流車両・一般車両の三段構えでも良いのではないか。
- ・ハード面の対策も重要だが、ソフト面(例えば、除雪の連携・事前の対応)の対策も重要である。
- ・日本海側沿いのネットワークは充実しているが、山間部や石川県能登方面は弱い。災害時を考えると、山間部や能登方面のネットワーク検討が必要。
- ・関係する機関と連携をとって、早期にダブルネットワークの機能を発揮させるべきである。